

大熊町公民館(生涯学習)活動について

第1回参考(2)

○令和4年度現在の活動の現状

事業名	活動概要・内容	現状(実施の有無)
1 フレンドリー教室	<ul style="list-style-type: none"> ・避難によって離れ離れになった子どもたちの再開の場として実施。 ・リーダーの育成、及び、様々な体験活動を通し、自ら判断し行動する力を身につけ、全体・グループ・個人のために率先して手を差し伸べる事ができる人材を涵養することを目標に実施。 ・活動内容として、子どもたちが主体的に活動できるように、事業を計画。 ・例)自然体験(キャンプなど含む)、伝統文化体験や芸能鑑賞、科学体験など多種多様に展開してきた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・3年前より、実施できず ・大熊町立学校在籍人数がごく少数のため、参加人数の激減 ・コロナ禍による影響で中止
2 ママだってやってみ隊	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の母親たちが、同じ立場の母親と交流し、子育てだけでなく様々な体験活動や交流を行うことによって、見聞を広め、子育てのストレスや悩みの解消に寄与することを目的に、震災前より実施(約20年間継続中) ・震災後は、父親の単身赴任や慣れない場所での生活や子育てを、互いに相談し合って、励まし、心の潤いに寄与している。 ・現在は、多くの母親が子育てが終了。離れ離れの母親の交流の場として機能している。 ・年間活動など、自分たちで計画し、施設の予約、参加者の募集や連絡など、代表者を中心に実施。 ・原則、第2火曜日が会津地区、第4火曜日がいわき地区が実施 ・定番のものづくり(季節もの)や体験に、毎年新しい活動を入れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在も実施中 ・会津地区といわき地区の2か所で実施。 ・いわき地区では、新会員が微増。会津地区は参加者の減少がみられる。 ・震災時のお子さんは、すでに成人、独立した方が多いが、新たに小中学生のお子さんを持つ、母親さんも参加している。
3 読書を語る会	<ul style="list-style-type: none"> ・読書推進事業として、作家ゆかりの地や記念館を巡りながら、読書について語り合う事業。 ・移動中の車内でも、訪れる作家の作品を読みながら移動。 ・宿では、グループに分かれ、推薦図書の紹介(→将来的には、ビブリアバトルに発展させたい) 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で実施できず。 ・今年度は、実施予定で計画中。 ・読書の町大熊として、継続していきたい。
4 報徳仕法に触れる旅	<ul style="list-style-type: none"> ・二宮尊徳の生家や記念館、関係する施設を巡り、二宮尊徳の教え(報徳仕法)を学ぶ旅。 ・学んだことを生かし、町の復興・発展に寄与することが目的。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で実施できず。 ・まだ、1度だけの実施。(30名程度が参加。) ・報徳サミットと絡めて実施も要検討。

○現在、町内での定期的な生涯学習的な事業は実施していない。

○公民館の生涯学習事業ではないが、震災後、各避難地域では、おおくまコミュニティづくり実行委員会の復興支援員によってコミュニティ団体が設立され、様々な活動が実施されている。バスツアーや芋煮会、餅つき大会などの交流会など。また、震災後に、各地域の出張所が行う、町民の交流の場としての「梨の実サロン」など継続実施中。(会津地区はすでに終了。いわき地区も本年度で終了予定)

